

伏見小だより



# 伏見っ子

平成30年度12月号

H30.11.30発行

学校の教育目標

よく考え仲間とかかわって  
行動できる子

## 役割を果たす力

校長 佐野 政紀



生活科や理科の授業、総合的な学習の時間を中心に子どもたちが中心となつてたくさんの花や野菜を育てています。今夏は異常気象により花咲きが十分でなかったり、収穫前に枯れたりすることを経験しました。植物を育てることは大変難しいことです。水やり一つとっても、ちょっと忘れるとすぐに枯れてしまいます。一方、たっぷりあげ過ぎても花は枯れたり腐ったりします。水やりのコツは、植物が必要としている時に、そのタイミングで適量をやることだと聞いたことがあります。時々、様子をよく見て水をやらない日を作ることも必要だそうです。「土の中の水分が少なくなると、根っこは危機感を覚え、どんどん伸び広がっていき、結果としてしっかりと根を張る。根がしっかりと張れば、植物はとても強くなり、日照りや風にも耐えることができる」。うなずけます。

「菊づくり」は6年生の取組です。今夏の生育はかなり心配をしましたが、夏季休業中も絶やすことなく菊当番をつなげることで見事に大輪の花を咲かせることができました。取り立てて水やりは本当に大変だったと思いますが、6年生は責任をもって役割を果たしました。6年生の力です。菊づくりの柴田先生、刀根先生の支えがなければできない活動でもあります。「菊作りは子育てと同じ。毎日手を入れなければならないが、その分美しく咲いてくれる」。お二人の言葉は心にしみみます。3年生のパンジーの世話が始まります。

伏見小

検索

御嵩町菊の花推進協議会 菊花展にて「中日賞」「学校特別賞」をいただきました。